

CS こひつじ科礼拝式次第

2022年8月28日 午前9時30分

2022年度年間テーマ：「イエス様の祈り『主の祈り』によって、祈ることを身につけよう」

テーマ曲：ワワワいっしょに（92番）

暗唱聖句：「すべての人との平和を、また聖なる生活を追い求めなさい。聖なる生活を抜きにして、だれも主を見ることはできません。」
ヘブライ人への手紙12章14節

10、ことりたちは（こどもさんびかをお用いください）

おいのり 礼拝に招かれたことを感謝しましょう

せいしよ 創世記41章37節～44節

ファラオと家来たちは皆、ヨセフの言葉に感心した。ファラオは家来たちに、「このように神の霊が宿っている人はほかにあるだろうか」と言い、ヨセフの方を向いてファラオは言った。「神がそういうことをみな示されたからには、お前ほど聡明で知恵のある者は、ほかにはいないであろう。お前をわが宮廷の責任者とす。わが国民は皆、お前の命に従うであろう。ただ王位にあるということだけで、わたしはお前の上に立つ。」ファラオはヨセフに向かって、「見よ、わたしは今、お前をエジプト全国の上に立てる」と言い、印章のついた指輪を自分の指からはずしてヨセフの指にはめ、亜麻布の衣服を着せ、金の首飾りをヨセフの首にかけた。ヨセフを王の第二の車に乗せると、人々はヨセフの前で、「アブレク（敬礼）と叫んだ。ファラオはこうして、ヨセフをエジプト全国の上に立て、ヨセフに言った。「わたしはファラオである。お前の許しなしには、このエジプト全国で、だれも、手足を上げてはならない。」

おはなしとおいのり

五十嵐美代枝先生

<総理大臣になったヨセフ> — 神さまはどんな時も一緒 —

先週のお話を少しして、続きの今週のお話をします。お父さんのヤコブがヨセフばかりかわいがるので兄弟たちはヨセフをにくんでいました。ある日、野原で羊の世話をしている時ヨセフを殺して穴にうめてしまおうとしましたが、それではかわいそうなので穴に投げ込むだけにして、食事が終わったらヨセフを売ってしまおうと考えました。ところが食事中にそこに商人が通りかかって先にヨセフを穴から助け出し、その商人は別の人にヨセフを売ってしまいました。そしてヨセフはその人にエジプトに連れて行かれました。エジプトについてのヨセフはファラオの宮廷の役人に買い取られました。奴隷となったヨセフですが、神さまと共に歩み、そこでよい働きをして、主人にとっても気に入られ、ヨセフと共にその家も主の祝福を受けて、十分な暮らしができていました。

さて、そんなヨセフでしたが、やってもいけない罪を着せられて王の囚人のための牢獄に入れられてしまいました。しかしヨセフはここでも神さまのおしえに従って生きていたので、神さまに守られ祝福されて、牢獄の役人や囚人たち、みんなに信頼されて生きていました。ヨセフは夢を解き明かす特別な力があつたので、囚人たちの理解出来ない夢があると解き明かしてあげました。その中にファラオの給仕役

の長がいて不思議な夢を見た時、それをヨセフが解き明かしました。そしてヨセフの言った通りになって、牢から出て、もとのファラオの給仕役の長に戻ることができました。

ある時ファラオが夢を見ました。やせ細った七頭の牛が太った七頭の牛を食い尽くすという夢と、実の入っていない干からびた七つの穂がよく実の入った七つの穂を飲み込んでしまったという夢です。ファラオはとても心配になり、エジプト中の魔術師やかしこい者たちに意味を聞きましたが誰もわかりませんでした。その時、ヨセフと一緒に牢獄にいて夢の意味を解き明かしてもらった給仕役の長がヨセフのことを思い出してファラオにヨセフのことを教えました。さっそくファラオに呼ばれたヨセフは、夢の話の聞き、その夢を解き明かしました。ファラオの見た夢は、神さまがこれからなさろうとしていることをファラオに告げるもので、二つ夢は同じ意味であり、間もなく起こることを告げました。それは七年の豊作の後に七年の飢餓の年が来ることの予言ですと解き明かしました。ヨセフはその対策として七年の豊作の時に王の管理により食糧を集めて保管するようにすすめました。そうでないと飢餓により国が滅んでしまうからですと説明しました。ファラオは「このように神の霊が宿っている人はほかにあるだろうか」と家来たちに言い、ヨセフを王さまの次に偉い人（総理大臣）にしてエジプトの国の全てを任せました。この後ヨセフが伝えた通り七年大豊作が続き、七年大飢餓の年となりましたが、しっかり豊作の時に食糧を蓄えておいたのでエジプトの国は大丈夫でした。ヨセフはファラオやみんなに信頼されるよい総理大臣になりました。これはすべて神さまの恵みと導きによるものです。

兄弟に捨てられ、商人に一旦は助けられたけれど、売られ、奴隷となり、罪を着せられ囚人となったヨセフは、神さまが決められた時に神さまによって引き上げられ、その後、祝福に満ちた生活をおくります。それは神さまがいつでもヨセフと共におられその歩みを導かれ祝福されたからです。ヨセフもまたつらい時も苦しい時もどんな時も神さまを信じて神さまと共に歩んできたからです。それからヨセフだけでなく、ヨセフの家族や周囲の人々にも主の祝福が及んでいったことも忘れてはならないことです。ヨセフの歩みを学び、今日は神さまと共に生きることのすばらしさを知る（確認する）ことができました。皆さんこれからも神さまの恵みをうけて、それぞれに与えられた道を感謝して、神さまと共に歩んで行きましょう。

お祈り

天の父なる神さま、今日はヨセフ物語を通して、神さまがいつも共にいてくださり、私たちを守り、祝福してくださることを学びました。どんな時も神さまを信じて神さまと共に生きていけるように、私たちを守り導いて下さい。イエスさまの御名によってお祈りいたします。アーメン。

* 小さなお子さまには、話の内容等をわかりやすく、年齢に合わせて噛み砕いてお話くださいますようお願い致します。

（けんきん）会堂2階掲示板下の机に献金箱を設置しました。

おいでの際におささげください。

97, 神様といつもいっしょ（こどもさんびかをお用ください）